

養成医かわら版

NEWSLETTER

自己紹介

名前：新野 花（仕事上は旧姓を使用しています）

専攻科：総合診療

勤務先：公立神崎総合病院

卒後：4年目

趣味：お菓子作り

経歴：

2022年3月 神戸大学卒業

2022年4月～2023年8月 公立豊岡病院組合立豊岡病院 初期研修

2023年9月～2024年8月 産休・育休

2024年9月～2025年3月 神戸大学医学部附属病院 初期研修

2025年4月～ 現職



私は兵庫県西宮市出身で大学卒業まで都市部で生活をしていました。初期研修で初めて但馬地域に住み、環境の違いに戸惑い、驚いたことを覚えています。豊岡病院で初期研修をスタートし、同期や先輩に恵まれて、たくさん勉強させていただきました。

初期研修の2年目の途中に妊娠、出産で1年間お休みをいただきました。育休明けは夫の勤務地に合わせて神戸大学病院で研修を再開しています。

豊岡病院では地域医療、神戸大学病院では最新医療を学び、大変貴重な経験ができたと思っています。何よりも、研修中に出産することに対して、皆様から応援していただき、本当にたくさんサポートしていただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

専攻医1年目（卒後4年目）からは総合診療を選択し、現病院に派遣され地域医療に取り組んでいます。

【子育てについて】

娘はもうすぐ2歳になります。現在は夫が姫路勤務のため姫路市在住なのですが、転居に伴い保育園探しがとても大変でした。年末にしか次の勤務先がわからないため、引っ越し先の住所も決められず、その状態では姫路市に応募した保育園はすべて落選してしまいました。夫の勤務先の院内保育に連絡をし続けて、なんとか一人空いた枠に入れてもらったという経緯です。現在娘は喜んで保育園に通っているので安心してしています。

フルタイム勤務で、通勤に片道50分かかるため、毎日朝早くから夕方遅くまで保育園でみてもらっています。休みの日の日直のときも保育園に預けているため、寂しい思いをさせているなと落ち込む時もあります。仕事以外の時間はずっと娘の相手をしているため、自分のために使える時間がないのが正直つらいです。しかし甘えてくれるのは今だけだと思って、今のこの大変な時間も大切に過ごそうと思っている所存です。

【神河町と公立神崎総合病院について】

当院は神崎郡の神河町にあり、神河町は兵庫県のほぼ中央に位置するハート型のまちです。

面積の8割を山林が占め、自然豊かな場所です。

神河町へのアクセスとしては、町の南北方向に JR 播但線と国道 312 号線、播但連絡自動車道が走り、姫路市まで約 40 分、京阪神まで約 1 時間 30 分以内となっております。

人口は約1万人で減少傾向にあり、高齢化率は40%を超えています。

当院には急性期病棟、地域包括病棟合わせ140床ほどあり、急性期の入院医療から回復期、慢性期、さらには介護へとつなげる一貫した医療、福祉サービスを提供しています。内科・総合診療、外科、整形外科、麻酔科、小児科、眼科の医師が常勤しています。

私は総合診療部に所属し、主に内科の患者さんを診させていただいています。主な業務は外来、入院、透析、救急対応などです。まだまだ力不足で勉強しながらの診療ですが、ベテランの先生が多く、その都度相談しフォローしていただいています。

医師だけでなく、コメディカルスタッフの方々もそれぞれの専門性を活かして、意見を出し合えるので、チームとして診療に取り組むことができていると実感しています。

【地域医療で必要なこと】

自分が主治医として地域医療に取り組みはじめ、病気そのものの治療よりも、退院後の生活支援の方に多くの時間や労力を要することが少なくありません。特に、患者さんが退院後も安定して健康な生活を送るために、病院内の医療スタッフだけでなく、地域の医療機関、介護事業所、行政、福祉職など多職種の連携が不可欠であると強く感じています。

私自身、診療の際には目の前の症状だけでなく、患者さんがどのような環境で生活しているのか、何に困っているのかを想像しながら関わるように心がけています。生活背景や価値観に目を向けることで、より实际的でご本人に意味のある支援ができるよう、日々想像力を大切にして診療に取り組もうと思っています。

まだまだ医者として力不足であり、子どもを育てながらではありますが、たくさんの人に支えられてなんとか頑張っています。

神崎病院内には病児保育所があります。子どもの急な体調不良の時に預かっていただけるので、子どもを育てながら安心して働ける素晴らしい環境だと思います。是非、勤務先の選択肢に入れていただけたら嬉しいです。



神河町
Kamikawa Town